

第4次瑞穂区地域福祉活動計画

【 概要版 】

(案)

住民が主体となった、地域における助けあい・支えあい活動の推進

～支えあいながら、安心して生活し続けることができる瑞穂区を目指して～

2019年度～2023年度



(イメージ)

社会福祉法人 名古屋市瑞穂区社会福祉協議会

第4次瑞穂区地域福祉活動計画の概要

想いを形に！

【基本目標】

住民が主体となった、地域における助けあい・支えあい活動の推進
～支えあいながら、安心して生活し続けることができる瑞穂区を目指して～

第3次計画で取り組んだ「人づくり」や「支えあいの仕組みづくり」の中で、種をまき芽がでてきた活動について、第4次計画では、創意工夫を肥料や水として、花を咲かせ実を結ぶよう取り組んでいくため、第3次計画の基本目標をそのまま継承することとしました。

加えて、新しい地域の福祉課題についても取り上げて取り組むことで、地域で安心して生活していくことができる福祉のまち「瑞穂区」を目指します。

【基本方針】

第4次計画では、住民として取り組む「孤立防止」を重要なテーマとして、これから必要と考える活動、仕組みづくりを決定しました。その計画を系統立てて進めていくため、基本方針と3つの実施計画にまとめました。

地域の人間関係が希薄になる中、住民同士の支えあい活動を推進するためには、まず支援を必要とする住民との「つながり」を、どのように作っていくかが重要です。また、支援を必要としている住民を支える担い手同士の「つながり（地縁や志縁）」を強くしていくことも、同様に重要になってきます。第4次計画では、その2つの「つながり」をより強くしながら、住民同士の支えあいの実践に活かすことで、福祉の土壌を育てていきます。

【基本方針】

【実施計画】

【実施事業】



